

令和 6年度予算見積調書

課室名：教職員課
 担当名：県立学校総務事務担当
 内線：6825

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P12	県立学校総務事務システム推進事業費（次期）			一般会計	教育費	教育総務費	教職員人事費	県立学校総務事務システム推進費	
事業期間	令和 5年度～ 令和 6年度	根拠 法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	
1 事業概要 総務事務システムは稼働から10年以上が経過し、データベース管理システムの変更、セキュリティの強化、ブラウザ対応などに課題を持っている。最新技術の活用やさらなるペーパーレス化など、DX推進を踏まえた抜本的な機能見直しを行う。 総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費 467,933千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 467,933千円 (2) 事業計画 ア 知事部局総務事務システムとの統合 イ データベースのクラウド(SPCC)移行 ウ DX推進による庁内事務の効率化 (3) 事業効果 ペーパーレス化やUI/UXの改善によるシステム操作時間の削減 ア 異動処理・認定手当に係るシステム操作時間の削減 イ 事後確認・年末調整に係るシステム操作時間の削減 ウ 休暇処理・実績給等に係るシステム操作時間の削減 【活動指標(アプトプット)】 システムの保守費用や改修費用の最適化、環境変化や制度変更に対応可能なシステムの構築 【成果指標(アウトカム)】 総務・庶務事務にかかる作業負担やストレスを軽減し、本来業務へ注力する時間を創出 異動処理・認定手当に係るシステム操作時間の年間のべ1,100時間程度の削減 事後確認・年末調整に係るシステム操作時間の年間のべ3,300時間程度の削減 休暇処理・実績給等に係るシステム操作時間の年間のべ7,500時間程度の削減 (4) その他 ア 本システムの設計・開発については、令和5年度から令和6年度までの委託契約を締結する。そのため、本事業の予算については債務負担行為として予算要求する。(総額940,853千円) (7) 令和5年度 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 472,920千円 (4) 令和6年度 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 467,933千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2=11,400千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
決定額	467,933							467,933	△4,987
前年額	472,920							472,920	

事業内訳書

事業名	県立学校総務事務システム推進事業費（次期）		
単位事業名	総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費	予算額	467,933千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	467,933	△4,987	
合計	467,933	△4,987	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	0	△100	
委託料	467,933	△4,887	総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託
合計	467,933	△4,987	